

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



## 大仙ふれあい吹き矢クラブの皆さん

スポーツ吹き矢の最大の特徴は呼吸法にあります。ゆっくりとした一連の動作のなかで、腹式呼吸と胸式呼吸の両方を用い、男女の別なく、若者・高齢者・障害者の誰もが楽しめるスポーツです。興味のある方は、ふれあい体育館・竹村さんまで

## 主な内容

## CONTENTS

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ■ 新年のあいさつ、第4回定例会概要 | 2～3   |
| ■ 10人の議員が一般質問      | 5～9   |
| ■ 委員会審査のあらまし       | 10～11 |
| ■ 決算審査報告           | 12    |
| ■ 先進地に学ぶ           | 13    |
| ■ 観光推進議員連盟研修会      | 14    |
| ■ 編集後記 ほか          | 16    |



# 新年のごあいさつ



議長 千葉 健

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい平成29年を迎え、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、市議会に対し、温かいご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、大曲工業高校の初の夏の甲子園での熱戦に、大いに盛りあげられました。市では、本年7月に親父たちの甲子園で知られるところとなった、500歳野球の全国大会が開催されます。大会を通じて、大仙市の文化、観光、特産品等、きめ細やかな情報を全国に向けて発信し、地域が活性化することを期待しております。

先日、3年ぶりとなる「中学生議会」を、市や教育委員会との共催により開催いたしました。将来を担う若い世代が、身近な問題

を通して、市政により関心を持ち、今後の活動に活かしていただけることを期待しているところであります。

昨年は、富山市議会をはじめ、全国各地で政務活動費の不正請求問題が報道されました。大仙市議会においては、平成23年10月に制定した議会基本条例に基づいて活動しており、不正な使途はありませんが、今後も、市民から見える議会活動を主眼に議会改革を推進して活動し、さらに市民に理解され、信頼される議会づくりをするため、市民の代表機関であることを常に自覚し、市民との協調と協働のもと活動してまいります。

市議会では、本会議のインターネット中継の実施に加え、昨年5月からは、FMはなびによる「議会だより」の放送も行っており、議員自ら出演しておりますので、是非ご視聴いただきますようお願いいたします。

結びにあたり、今後とも、大仙市議会に対しまして、ご支援、ご協力をお願いするとともに、市民の皆さまのご多幸を祈念申し上げます。あいさつといたします。

## 第4回定例会

第4回定例会は、11月28日から12月16日までの19日間の会期で行われました。

本会議1日目に、栗林市長の市政報告が行われました。また、継続審査となっていた平成27年度一般会計・特別会計歳入歳出決算19件、市当局提出の人事案2件、条例案3件、単行案2件、補正予算案10件を、それぞれ認定・同意・原案可決しました。

本会議4日目に、市当局提出の条例案7件、単行案8件、補正予算案6件を原案可決したほか、陳情7件のうち5件を採択、2件を不採択とし、意見書案4件を原案可決しました。

一般質問は、2日間にわたって10人の議員が、市政全般について市当局に質問しました。



本会議2日目 一般質問

※第4回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます  
 〈市議会トップページ→議会中継（映像アーカイブ）→平成28年第4回定例会 本会議〉

単行案

▼指定管理者の指定について（関連議案5件全会一致で可決）

No.	施設名	指定管理者	指定期間
1	八乙女温泉さくら荘	むつみ造園土木(株)	H29.4.1～H32.3.31
2	協和農林水産物直売・食材供給施設 (道の駅協和「四季の森」)	(株)協和振興開発公社	H29.4.1～H34.3.31
	協和遺跡・陶芸の里交流施設		
3	八乙女交流センター	むつみ造園土木(株)	H29.4.1～H32.3.31
4	八乙女球場	むつみ造園土木(株)	H29.4.1～H32.3.31
	八乙女運動公園テニスコート		
5	大曲駅東駐車場	(株)東北ダイケン秋田支店	H29.4.1～H32.3.31
	大曲駅前自転車駐車場		
	大曲駅東自転車駐車場		
	大曲ヒカリオ駐車場		

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（全会一致で同意）

◇杉山美紀子氏（角間川町）再推薦  
◇鈴木祐子氏（大曲緑町）再推薦

条例案

▼大仙市水道事業給水条例の制定について（全会一致で可決）

簡易水道事業の公営企業化に伴い、水道給水条例において簡易水道の料金、給水装置工事の費用負担、その他給水に関する規定が整備されました。なお、水道事業及び簡易水道事業の水道料金や手続きなどはこれまでどおりです。

補正予算

▼平成28年度大仙市一般会計補正予算（第6号）（全会一致で可決）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ9億5224万3千円を追加し、補正後の総額は474億1439万3千円となりました。

主なものは、待機児童が出ている状況を早急に解消するため、来年4月に横堀小学校内に開設予定の児童クラブを、12月24日に前倒しして開設するための経費149万円、市が推進している花火産業構想において、花火創造企業が実施する花火生産拠

点工場建設への補助金1億円、西仙北地域の暁橋補修工事費1億5566万7千円、小中学校の部活動とスポーツ少年団の全県・東北及び全国大会出場における選手や指導者等の派遣費補助金として、小学校分166万6千円、中学校分222万2千円、スポーツ少年団分427万3千円などです。

▼平成28年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）（全会一致で可決）

中仙地域の入角地区簡易水道の水源新設に係る調査費415万8千円です。



本会議4日目 起立採決（陳情第55号）

平成28年第4回定例会 議決結果（11/28）

番号	件名	議決結果
議案第176号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第177号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第178号	大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第179号	大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第180号	大仙市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決

※11月28日に議決されたなかから、主なものを抜粋しています。



平成28年第4回定例会 議決結果 (12/16)

番号	件名	議決結果
議案第193号	大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第194号	大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第195号	大仙市議会議員及び大仙市長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第196号	大仙市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第197号	大仙市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第198号	大仙市水道事業給水条例の制定について	原案可決
議案第199号	大曲仙北広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について	原案可決
議案第200号	八乙女温泉さくら荘の指定管理者の指定について	原案可決
議案第201号	大仙市協和農林水産物直売・食材供給施設及び大仙市協和遺跡・陶芸の里交流施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第202号	大仙市八乙女交流センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第203号	大仙市営八乙女球場及び大仙市八乙女運動公園テニスコートの指定管理者の指定について	原案可決
議案第204号	大曲駅東駐車場等の指定管理者の指定について	原案可決
議案第205号	平成28年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第206号	平成28年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第207号	平成28年度大仙市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第208号	平成28年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第209号	平成28年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第210号	平成28年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第211号	平成28年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第212号	平成28年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第213号	大仙市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
陳情第47号	旧佐藤産業工場解体に関する陳情	不採択
陳情第50号	通町2区市道への消雪設備導入に関する陳情書	採択
陳情第51号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情	採択
陳情第52号	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情書	採択
陳情第53号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める国への意見書提出の陳情	採択
陳情第54号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書提出の陳情	採択
陳情第55号	若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情	不採択
意見書案第31号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書	原案可決
意見書案第33号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	原案可決
意見書案第34号	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書	原案可決
意見書案第35号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書	原案可決

第4回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	大地・公明の会											新政会					だいせんの会				共産党	弱						
		鎌田正	武田隆	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤健	佐藤育男	石塚柏	高橋幸晴	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木隆	小山緑郎	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村誠	児玉裕一	佐藤文子	藤田和久	佐藤隆盛	
議案第155号 平成27年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第178号 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第55号 若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

※陳情第55号は可否同数のため、議長が採決に加わりました。



新政会  
小松 栄治 議員

Q 新しい都市計画の見直しは

A 立地適正化計画を策定し、新都市像を見据えた配置計画の検討を進める

**質問** 公共施設の見直しが必要と思うが、配置計画と同時に新しい都市計画（用途区域）を示す必要があるのでは。また、今後の建物の削減目標は何%か。一方で、本庁舎の改築や新美術館の建設が必要と考えるが、計画を伺う。

**市長** 大仙市都市計画マスタープランの高度化版である「立地適正化計画」策定に着手している。公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、策定を進めていく。ハコモノの削減目標は、今後30年間で33%を縮減する。本庁舎は平成46年を目処に、大曲南庁舎を統合した建て替えを行う計画である。新美術館については、美術品や歴史資料等を市内の既存施設に保管や展示しているの

で、将来的には見直しが必要であり、長期的視点で検討していく。

老人クラブへの支援策は

**質問** 老人クラブの会員数が減少し、規模縮小や解散を余儀なくされている。市としてどのような支援を考えているか。

市長

老人クラブのあり方や活動を見つめ直し、加入するメリットや魅力を創出する必要がある。単独の老人クラブだけでは実施できない活動を、複数の老人クラブで実施するための支援や交流機会の設定支援、新たな老人クラブ活動の発信や会員組織づくりなど、地域の老人クラブの相談・世話役として支援を検討していく。

※このほか、市の活性化と人口減少対策について質問しました。



大仙市役所 本庁舎（大曲庁舎）



新政会  
小山 緑郎 議員

Q サイクリングコース整備に地域資源活用を

A 中仙地域の資源も検討材料としている

**質問** みずほの里サイクリングコース整備事業に、小沼神社、鳥越の滝、小滝ダム、東山ふれあいの森の東屋、水洗トイレの活用を。

**久米副市長** 中仙地域の資源も検討材料とし、農業団体や商工団体、地域づくり団体などのほか、関係支所とも協議を重ね、トイレの整備や案内板の設置などハード面、受入組織づくり、サイクリング案内人育成、地元との交流機会創出などのソフト面の計画を進め、観光客の受入環境の整備を図っていく。

斑鳩町との交流を考えては

**質問** 鈴木空如の画業をきっかけに、さらなる交流を。

**市長** 奈良県が事業主体となり、2020年東京オリンピックに合わせた文化プログラムにおいて、法隆寺金堂壁画を大きく紹介する構想もあり、子どもたちの郷土の先人、歴史学習の充実や、市民の皆さんが鈴木空如の作品と画業について学べる機会と環境を整え、交流のあり方を検討していく。



小沼神社（中仙地域）

雇用・就労への支援は

**質問** 雇用・就労への支援の今後の取り組みについて伺う。

**市長** これまでの市政評価に加えて、より具体的な個別事業に関する調査を今月実施する。雇用・就労への支援に対する詳細な「評価・要望」を分析することで、効果的な事業の検討が可能になると考えている。また、商工団体等からの要望や課題の把握に努め、新たな必要とされる施策を検討していく。





大地・公明の会  
石塚 柏 議員

Q 福部内川の改修事業が遅れているが

A 平成28年の完成予定が平成36年に延期

**質問** 大曲市街地洪水対策協議会に対する県の説明会で、福部内川改修事業が遅れるという説明があり、特に須和町、若葉町、住吉町の住民から不安の声が聞こえるが、市の対応は。

**市長** 福部内川改修事業は県営事業で進められているが、延長1000mの築堤に変更はないが、工事費の高騰、財政上の理由から当初平成28年の完成予定が36年に延期となりました。市としては、引き続き重点課題として要望していく。

**自主防災会で「防災マップ」作りを進めてはどうか**

**質問** 大仙市の自主防災会の組織率は86%と伺っているが、せっかく組織された自主防災会の活動が会によつては活発といえない。国土交通省の浸水想定の見直しに合わせ、自主防災会と「防災マップ」づくりを取り入れてはどうか。

**市長** 今後も、自主防災会への補

助金のPR、事例紹介、活動内容の提案に努めたい。

**歴史史跡の説明看板の設置について**

**質問** 大曲史談会は毎年夏の街の語り部と一緒に、大曲の町の歴史を語り合いながら街歩きをしており、参加者は今年は東京、秋田市の方を含めて54人となり昨年より伸びている。また、史跡に写真と説明文を載せた看板を19カ所設置しており、説明には明治の高浜虚子、石井露月、柳田国男、犬養木堂など文人政治家の交流があった丸子川の枕流館や明治天皇と小西平州、鎌倉期の虎王丸と八幡土塁の説明が正確に記述されている。この事業の恒久的な看板の設置を市で段階的に実施することはできないものか。

**教育長** 「歴史の街歩き事業」について

は花火伝統文化継承資料館の整備に合わせて、見学ポイントや紹介パネルの整備を計画したい。



日本共産党  
藤田 和久 議員

Q 若者の地元就職向上で、人口減少対策の推進を

A キャリア教育の充実を図り、地元就職率向上につなげる

**質問** 地元を大切に思う心を育てる教育に力を入れ、若者の地元就職の向上を図っては。

**教育長** 小・中連携や地域連携、職場体験農作業体験、大仙市ふるさと博士育成事業などを通じ、キャリア教育等の充実を図り、地元就職率向上につなげてまいりたい。

**賃金と働く環境の改善を**

**質問** 地域の民間企業の賃金と働く環境を改善すべきではないか。

**市長** 若い人たちの雇用の場の確保を重視し「早期求人要請」「企業説明会」「職場研修事業」などに取り組んできた。賃金と働く環境の改善については、関係機関を通じて企業・事業所に働きかけてまいりたい。

**市の保育所待機児童対策は**

**質問** 待機児童対策としてどのよ

うな努力をしてきたのか。また、今後の見通しは。

**市長** 年度途中の受け入れを可能にする「乳幼児保育推進事業」を実施し、また「保育士就労奨励金制度」を創設して、6人の保育士を確保した。今年度は年度途中で73人を受け入れたが、まだまだ保育士が不足しており、11月1日現在の待機児童は14人となっている。

**質問** 保育改善のため保育事業者への支援と指導を強化すべき。保育職員の賃金と身分の改善、増員による人的体制の強化を求め。

**市長** 年1回の指導監査をはじめ、必要な指導・助言を行っている。施設修繕や給付費不足等には市単独で補助をしている。保育職員の賃金と身分の改善、増員は必要と認識している。保育所運営には国・県・市が負担する「給付費」が財源であり、一層の改善を国に働きかけてまいりたい。



会 公明の 大地  
議員 道男 金谷

Q 防災ラジオの普及と  
情報伝達訓練の成果は

A 防災ラジオは普及途中である  
訓練はおおむね良好だった

**質問** 災害時には個々の市民へ緊急情報を素早く確実に伝える必要がある。その手段としてFMはなびによる防災ラジオの活用が有効であると思う。防災ラジオの貸与・販売状況と、先に行われた防災ラジオを使った情報伝達訓練の結果は、市民の声も含めてどうだったか。

聞こえたなどの声が寄せられた。音量、明瞭度ともおおむね良好な結果であった。

防災ラジオを全戸無償貸与が  
考えられないか

**市長** 防災ラジオは11月末現在、支所分貸与対象4854台のうち、1728台、35・6%貸与している。販売分は、3年間での目標は450台だが、11月現在42台が販売された。今後、多くの市民に使ってもらえるよう普及を進めたい。情報伝達訓練はJアラートと連動し11月29日に行った。FMはなびから防災ラジオへの自動起動信号は正常に発信された。個別の防災ラジオの作動は、貸与者の一部100名に聞き取りしたところ87台が正常に作動した。正常に起動しなかった原因は、電波の弱い場所への設置や電池切れだった。市民からはよく聞こえた、隣の部屋でも

**質問** 防災ラジオは防災行政無線に代わる情報伝達手段として有効であると思う。今後全戸への無償貸与を提案する。

**市長** 防災無線の設置は難しいのでFMの利用は有効だと思う。防災ラジオは多くの方々の元になく効果が薄い。財政上の問題もあり現行の制度でスタートしたが、早めの普及が大事なので、今後無償貸与も含めて多くのところに防災ラジオがあるようにしたい。

※このほか、保育所持機児童解消、地域防災マップ作成、公共施設の耐震化の質問をしました。



会 公明の 大地  
議員 幸晴 高橋

Q 米の産地間競争への対応を  
どう進めるのか

A 良食味米産地としての  
地位をつないでいく

**質問** マーケットを重視した生産者への意識改革について、行政としてどのように取り組んでいくのか。

**市長** 消費者ニーズを意識した米づくりを実践する生産者も増えてきており、高品質生産に向けた取り組みが進められている。マーケットを重視したこれまでのJAを主体とした取り組みにこれまで以上に力を入れ、ブランド力強化を目指し、JAと歩調を合わせて取り組んでいく。

**質問** 現在の米の消費動向は、食味検定での特Aのランク付によって大きく左右されており、全国であきたこまちの食味を目指した新品種ラッシュで、特A米が続々と誕生し、競争が激化している。特A米作りへどう取り組むのか。

**市長** 他県で新品種が続々と販売され、秋田県産米の地位が非常に厳しい状況にあり、あきたこまちのさらなる食味・品質向上が今後の課題である。JA秋田おぼこでも、JA全

体の底上げを図り、米の評価向上に向けて適切な施肥体系の再構築等も検討しており、市でもJAの取り組みを支援し、良食味米産地としての地位を将来につないでまいりたい。

二世帯同居の奨励を

**質問** 若者が安心して出産・子育てができる環境、高齢者の孤立防止や家庭内の介護の担い手確保、家庭教育の充実などの効果も期待できることから、二世帯同居を奨励したかどうか。

**市長** 国の地方創生に関する施策の動向や本市の実情を踏まえつつ、親世帯と子世帯が気軽に行き来できる近さに暮らす形である「近居」に対する支援なども含め、総合的な視点から調査研究を行っていく。

※このほか、各地域の洪水ハザードマップについて質問しました。





大地・公明の会  
後藤 健 議員

Q 市内小中学校の  
トイレ洋式化の推進を

A 早期の全面洋式化を  
進めていきたい

**質問** 家庭のトイレがほとんど洋式化されている現在、市内には洋式化が10%台の学校もある。洋式化は保護者からの要望も多く、和式では排便できない多くの子どもたちのため、また、災害時に避難所となる場合や節水の観点からも洋式化を推進すべきでは。

**教育長** 全小中学校の全ての階に男女各1基以上の洋式トイレの設置を終了し、現在は大規模改修に合わせ、全面洋式化を年次計画で進めている。今後、国の補助を活用し、学校間の格差にも配慮しながら、給排水衛生設備に係る大規模改修を前倒しで実施するなど、全面洋式化を一層推進してまいりたい。



「大曲の花火」で  
イベント民泊を実施しては

**質問** 絶対的な宿泊施設不足を少しでも解消し、観光消費の拡大や人的交流にもつながるイベント民泊を「大曲の花火」時に実施してはどうか。

**市長** 宿泊施設不足を解消する手段としてだけではなく、旅行者との交流促進や観光消費にもつながる一方、自宅提供者や近隣住民間のトラブルや衛生面、自宅提供者に対する研修や保険加入奨励、苦情窓口の設置などが必要であり、保健所や警察などとの連携など課題もあるので先進事例を研究してまいりたい。

**※イベント民泊とは**…全国各地で開かれるイベントに合わせて、旅行者が現地の一般家庭に宿泊できる仕組みです。イベントが開催される地域と期間に限定して行われます。



大地・公明の会  
秩父 博樹 議員

Q コンビニと連携し、  
AED設置を進めるべき

A 設置に向け、働きかけていく

**質問** 公共施設でのAED(自動体外式除細動器)の設置について、施設の内外から使用できるよう屋外型収納ボックスに保管して、施設の出入口付近に設置し、いつでも使えるような配置にすべきでは。

**市長** 施設の防犯対策や盗難対策などを施設管理者と協議し、屋外に設置することが効果的な施設については、先進事例を参考に検討する。

**質問** AEDを所持している民間企業等に広く呼びかけ、玄関部分に設置してもらうなど、協力を募るべきと考えるが。

**市長** AEDを設置している企業に対し理解と協力が必要となることから、現時点では難しいと考える。

**質問** いつでも利用可能なAEDの設置場所として、市内のコンビニと連携し、設置に対しての協力依頼を進めるべきでは。

**市長** コンビニにAEDを設置することは非常に有効と考えており、交通量の多い道路沿いや、地域の核となる場所に位置しているコンビニへの設置に向け働きかけていく。

食品ロス削減への取り組みを

**質問** 食品ロス削減について、行政が「宣言」を掲げる取り組みの実施を検討すべきと考えるが。

**老松副市長** 宣言やキャッチフレーズを用いた運動は、市の取り組み方針を明確にし、広く市民に浸透していくなど有効な取り組みであり、具体的な進め方を検討していきたい。

**質問** 大仙市には多くの飲食店があるので、市内飲食店に広く協力を呼びかけ、市民の食べ切りを促進するための取り組みを行う飲食店等を(仮称)「食べきり協力店」として登録する制度を導入するなど、食品ロスの削減について取り組んでいくべきと考える。

**老松副市長** 事業所訪問の調査結果なども踏まえ、具体的な内容について検討を進めてまいりたい。

※このほか、アンダーパスの安全対策の強化について質問しました。





大地・公明の会  
佐藤 育男 議員

Q 待機児童32名！

待機児童解消のため、  
余裕教室等の活用を

A 学校施設の活用は

必要と考えている

**質問** 放課後児童クラブを利用している児童は、4月1日時点で901名で、10年前の3倍となっており、さらに増えると予想されている。そのような中で、現在32名の待機児童が発生している。待機児童解消のため、余裕教室の活用をより一層進めていただきたい。

**教育長** 各小学校の余裕教室は、少人数学習や外国語活動のため有効活用されている。また、特別支援学級の新設等、不測の事態に備え、一定の余裕教室を確保しておく必要がある。一方、放課後児童クラブの利用者が増加し、待機児童も発生している現状から円滑な放課後児童クラブ運営のため、学校施設の活用は必要と考える。施設環境の整備による待機児童の解消に努め、中期的な視野から受け入れ態勢を整えることとしていく。

**市長** 余裕教室の活用については、少し手を加えるとスペースが出てくるといふ可能性もあるので、教育委員会と協議を行い、施設整備に取り組んでいく。学校の校舎にこれ以上



八乙女児童クラブ（中仙地域）

余裕教室が出ないとすれば、学校敷地内への新築や公民館的な公的な施設の近くに作るなど、考えていかなければならないと思っている。この件は、教育委員会と連携を取りながら具体化させた計画を出さないと、増えてくる子供たちに対応できないのではないかとこの問題意識を持っている。また、器だけでなく、人材の問題も大変な状況になっていると認識しているので、少し時間をいただきたい。



日本共産党  
佐藤 文子 議員

Q 地域医療構想についての

市長の考えは

A 病床数の削減を

要請するものではない

**質問** 10月に策定された地域医療構想では、病床機能の分化と病床削減が明らかになったが、市長の考えと今後の対応について伺う。

**市長** 地域医療構想は、県が2次医療圏ごとに高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4つの病床機能に分け、将来推計人口や患者の受診動向などに基づいて、将来必要とされる医療機能を把握し、不足する機能をどのように解消していくか判断するための目安であり、病床数の削減を要請するものではないと理解している。市としては、今後も市民が安心して医療を受けられるよう、地域医療構想に基づき、県や関係団体と連携して推進していく。

**質問** 慢性的な医師不足があげられているが、医師確保対策の現状は。

**市長** 秋田県医療保健福祉計画で、県外からの研修医等の確保促進や若手医師が大学と地域の医療機関を循環しながら、キャリア形成のための

支援を行うなど、県内定着していただくような魅力ある環境づくりを推進するとしている。修学資金貸与制度や最新医術習得のための魅力的医療環境の創出、女性医師が仕事と家庭を両立できる就労支援のほか、市において不足が懸念される産科医の安定確保のため、産科医確保支援事業を実施するなど多様な医師確保対策を進めている。

ガン検診の無料化を

**質問** 市で実施する各種ガン検診の自己負担額を無料にしては。

**老松副市長** 各種ガン検診は、一定の年齢の対象者には無料クーポン券を交付している。今後も検診費用の自己負担の軽減については、メリハリある事業を推進しながら、国や県の動向を踏まえ検討する。

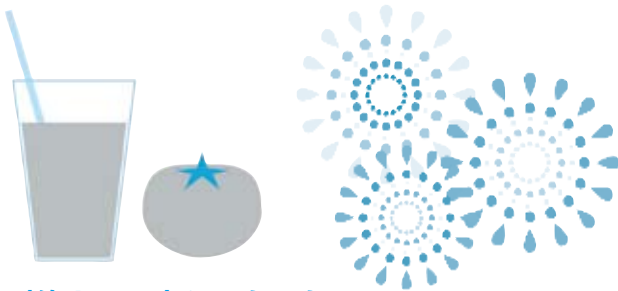
## 企画産業常任委員会

条例案1件、単行案2件、補正予算案1件を審査しました。

### 道の駅なかせんの加工場再利用の内容は

**【問】**道の駅なかせんに併設の加工場の再利用について、加工製品や販売計画はどういったものか、また、審査会で心配された点は、どういう部分か。

**【答】**主な製品は160gパックのトマトジュース、トマトとりんごのミックスジュース、トマトソースなどである。販売先は各道の駅、JR角館駅、大手ジュース会社などと交渉中である。審査会では、初めて立ち上げた会社であり、販売先や融資の点が懸念されたが、長野県の手ジュース会社から購入の問い合わせが来ていること、融資は金融機関との協議が進められており、目処が立ってきている状況であるため、提案を可としている。



### 融資という考えはないか

**【問】**花火産業構想推進事業費に対する補助金について、融資という考え方はできないのか。

**【答】**融資制度のうち、長期貸付は金融機関が行っており、行政による融資例はなく、短期貸付は、総務省からの指導として、不適切な取り扱いと指摘されている。総務省が所管する「ふるさと融資制度」は、使い道に制約があることや融資決定までに期間を要するため、事業の進捗に合わせた借り入れが難しく、花火創造企業が地元の3つの金融機関からの融資を選択している。市としては、当初から民間のノウハウに経営を任せることで、出資は行わないこととしていたが、この工場は他分野の製造業と違い、手作業の部分が多く、従業員の習熟度が上がらなければ生産量や品質共に確保できず、操業当初の利益が見込めないという事情があった。また、この会社には地元の花火会社も出資していることや、設立の経緯や目的も公益性が高いことから、市でもこの取り組みを早く安定軌道に乗せたいという趣旨で、今回建設費の一部補助を提案するものである。

## 総務民生常任委員会

条例案7件、単行案1件、補正予算案4件、陳情3件を審査しました。

### 介護休暇の状況は

**【問】**介護休暇を取得している職員数は何人か。分割での取得が可能となるが、介護休暇に対する理解をどう構築していくのか。臨時職員にも適用されるのか。また、介護する場所と職員の勤務地の往復で時間がかかる場合、勤務地を変更する考えはあるのか。

**【答】**介護休暇の取得者は述べ9人で、現在1人取得中である。周りが協力して取得できる環境を醸成するよう管理職全体にも指示している。臨時職員については取得することはできない。また、職員の勤務地については、すべてが希望に沿えるとは必ずしも言えないが、使用者側の責任として、なるべく沿えるよう努力する。

### 財政調整基金の見通しは

**【問】**財政調整基金の積立が12月補正で出てきたが、積立を決める時期の条件はあるのか。3月末になったときの基金への繰り入れの見通しはどうか。また、基金を標準財政規模の10%にまで蓄える目標設定には疑問を感じるが。

**【答】**例年は年度末の財政状況等を踏まえ積立を行ってきたが、今年度は前年度からの繰越金が合併後最大となるなど、今後の財政執行等を踏まえた結果、現段階で3億円は確実に積立できるため、今回の補正となった。

基金への繰り入れの見通しは、今冬の降雪の状況等にもよるが、平年ベースで推移した場合は、さらなる積み立て財源も見込まれる。その場合は公共施設等修繕引当基金等への積み立ても考えている。また、基準財政需要額については標準的な行政経費であり、全てが交付税で賄われているわけではない。基金残高を標準財政規模の10%に目標設定したことについては、災害等に対応するためのもので、災害時の経費が全て特別交付税で措置される訳ではなく、必ず自治体の負担も生ずることになる。



## 建設水道常任委員会

条例案 2 件、単行案 4 件、補正予算案 11 件、陳情 1 件を審査しました。

あかつき

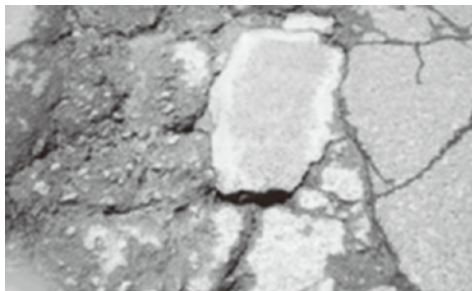
### 暁橋の修繕内容は

【問】西仙北地域の暁橋は、9月に床版の舗装が著しく劣化した部分を除去し、コンクリートで応急処置的に補修しているが、そのほかの部分の損傷状況はどうであったか。また現在、舗装面はひび割れ等のため、でこぼこしているが、全面舗装をするのか、それとも部分的に舗装するのか。

【答】9月に補修した部分についてはこのままで大丈夫だと思うが、ほかの部分はかなりひび割れ等が発生している。土砂化が進んでいるところは全て撤去し、再度コンクリートを打ち直する。



暁橋の損傷状況 (9月)



### 水源地変更に指摘事項はあったか

【問】水源地である齊藤川の表流水が、降雨時に濁度が上昇するため、中仙地域入角地区簡易水道いりすみの水源地を、新たに地下水に求めるものだが、補助事業により整備したこの施設の水源を変更することに対し、国や県からの指摘事項はなかったのか。

【答】水源地の水質が極端に悪化した場合、水源地を変更することは可能というのが国・県の認識である。また、豪雨時にはさらに濁度が上昇し、もっとひどい状況になる。そのため、水源地を変えることについては、市の判断にまかせるということになっている。

## 教育福祉常任委員会

単行案 3 件、補正予算案 5 件、陳情 3 件を審査しました。

### 西仙北地域スクールバスの状況は

【問】運行開始時と現在でスクールバスを利用している児童・生徒数に変化はあるか。変化があった場合は、それが契約金額にどのように影響するのか。

【答】運行開始時より、現在は児童・生徒数が減少している。運行経費は、走った距離によるキロ制運賃の単価と走った時間による時間制運賃の単価で積算されるもので、生徒数の減少がすぐ契約金額に影響するものではないが、走行距離、スクールバスの運行台数等が変更になる場合は、契約金額に反映される。



### 要支援児童への保育対策は

【問】保育支援員は、資格を持っているかどうかで待遇は変わるのか。

【答】法人の実情に応じて、雇用形態や待遇が異なっている。

【問】要支援となる児童の発生は、家庭の生活環境に起因するのか。

【答】「障害」は先天的に持って生まれる場合や、成長の過程で後天的に現れる場合もある。家庭の生活環境に起因しているものもあろうかと思う。

【問】要支援児童が増え続けている原因を考えなければ、このまま人とお金を注ぎ込むだけで解決につながらないではないのか。

【答】原因については、家庭環境なのか、障害なのか、病気なのか特定するのは困難と考えている。今後も保育施設等において、支援が必要な子どもが安心して生活できる場所を提供していきたい。



決算内容を述べる武田隆  
決算特別委員長

## 決算審査を終えて

今回の決算審査につきましても、P・D・C・Aサイクル、すなわち計画・実行・評価・改善を念頭において、審査をさせていただきました。私からの総括的審査意見といたしまして、次の3点について述べさせていただきます。

1点目は、ここ数年度にわたり、市債の発行を抑え財政の健全化に努めておられることにつきましては評価いたしたいと思います。が、今後とも地方交付税の大幅な縮減が見込まれる状況にあり、自主財源が25%程しかない当市にとっては、厳しい財政運営を迫られる結果となることは明かなことではありますが、市民にとって必要な事業を委縮させることのないように、努めていただきたいと思います。

2点目は、農林業、商工業などの産業振興や、観光等のサービス業の振興についてであります。市政評価においても満足度の低いところにランクされております。若い方々の定住促進、ひいては少子化対策・人口増加策にもつながる、経済活性化の振興をさらに推し進めていただきたいと思います。

3点目は、人口減少問題であります。2点目と重なる面もありますが、若い方々の県外流出に歯止めをかけるためにも、雇用の場の確保対策をより強力に取り組んでいただきたいと思いますし、待機児童解消や、女性労働者が安心して働ける環境を整える意味においても、保育士の確保対策に一層努めていただきたいと思います。

さて、決算の審査は、総務民生分科会・企画産業分科会・教育福祉分科会・建設水道分科会に分かれて審査いたしました。審査の過程で委員から出されました指摘や評価につきましてはその都度、担当部長、課長に伝えておりますので、日常の業務遂行においてはもちろんのこと、特に平成29年度の事業や予算編成等において十二分に反映させていただくことを期待いたします。(各分科会の主な審査意見は次のとおりです。)

### 総務民生分科会

- ①定員適正化計画では、平成30年度までに、普通会計職員数を726人とする目標で進んでいるが、時間外勤務の増加が見られ、今後においても、業務量が増えることが予想される。再任用職員や臨時職員の処遇改善とともに、職員の一部に負担が偏らないよう、また、住民サービスの低下を招かないよう、業務の検証をしながら、事業の執行に努められたい。
- ②市税及び国民健康保険税の収納に関しては、差押え等の実施により、収納率が向上していることは評価するが、不納欠損については、依然多く発生している。未納者の生活実態を調査し、生活困窮者に対して、納期限前の減免制度の案内の徹底に努められたい。

### 企画産業分科会

- ①中心市街地エリア内に同じような使用目的の公共施設があるように感じられる。維持管理費の抑制を図ることを目標に、利用目的を明確にすることや活動スペースの棲み分けについて整理する必要があると思われるので、今後、検討されたい。
- ②平成30年には生産調整の見直しが行われることから、農業法人、認定農業者等に対し経営改善計画を活用した経営指導の実施や、JA及び県と連携し農家所得向上に資するための営農指導の強化策を検討されたい。

### 教育福祉分科会

- ①「子ども・若者育成支援事業費」等の委託事業について、各事業の委託先において利用者から係員の対応への苦情等が寄せられるケースが見受けられる。委託料等を市から支出しており、運営を単に委ねるだけでなく、定期的な巡回指導を行うなど係員の資質の向上を図り、利用者が快く支援を受けられる体制作りに努められたい。
- ②「高齢者生活支援サービス事業費」のうち、「家族介護慰労金支給事業」については、現在、市民税非課税世帯に支給されているが、要介護者を支える家族の物心両面に渡る負担は、課税世帯であっても差はないと考えられ、適用範囲の拡大を求めるものである。

### 建設水道分科会

- ①全国で、通学中の子どもたちが犠牲となる事故が相次いでいる。本市においても、毎年、通学路安全パトロールが行われているが、危険箇所が発見されたときには、早急に通学路歩道整備事業等により、改良工事を行うなど、通学路の安全性確保に努められたい。
- ②簡易水道事業・各下水道事業については、一般会計からの繰入金が多額になってきているが、一般会計からの持ち出しは極力少なくするのが本来である。特別会計から企業会計への移行に向け、経営安定のため、一般会計からの繰り入れについて適切に処置されたい。



### 総務民生常任委員会

守山市の公文書館を視察



斑鳩町でゴミ積み替え施設を見学



10月17日から19日まで、滋賀県守山市と奈良県斑鳩町<sup>いかるがちょう</sup>へ行政視察に行っていました。

守山市では、市立公文書館について研修と視察を行いました。公文書館が建っているところは、市役所の向かい側ということもあり、1日平均13人の来館者があるとのことでした。また、古文書に関する企画展示を行い、ホームページ等でPRしているとのことでした。課題としては、古文書解読員の確保などがあるとの説明を受けました。

斑鳩町では、ゴミ積み替え施設を視察しました。斑鳩町は、ごみを燃やさない、埋め立てない町の実現のため、20の分類でゴミを収集して、生ゴミなどは堆肥に、ほかはリサイクル業者へ運搬しておりました。また、鈴木空如の縁もあり、斑鳩町の小城町長より、歓迎のご挨拶を賜りました。



(委員長 佐藤清吉 記)

### 教育福祉常任委員会

城陽市での研修の様子



草津市でICT教育への取り組みを学ぶ



10月18日から3日間、京都府城陽市と滋賀県草津市を視察してきました。

城陽市では「待機児童解消に向けた取り組み」について学びました。同市では公立5園、私立5園の保育所に1,544人の児童が入所しており、待機児童は0人でした。働く子育て世帯が入所しやすい環境整備のため、入所困難な児童のうち、主に0歳児～2歳児については、保育士配置基準に満たなくても、派遣職員等の採用により、年度途中でも随時受け入れておりました。

草津市では「ICT教育の取組」について学びました。同市では平成21年から電子黒板の導入を進め、ICT教育をスタートさせています。タブレットパソコンを4,200台導入し、児童2.3人に1台となっております。質の高い授業の創造を目指し、「一斉学習」では電子黒板を利用した情報交流で、全児童の考えを表示、「個別学習」では端末を利用した自力解決で、ネットを利用し個人で調べ学習、「協働学習」では班・小グループ内での意見交流などを行っていました。

(委員長 古谷武美 記)

### 議会運営委員会

学ぶ

小田原市の議会改革を



市原市での研修の様子



11月15日から17日までの3日間、神奈川県小田原市、千葉県市原市を視察してまいりました。

小田原市では、議会改革や電子機器の扱いについて研修しました。同市では予算の修正案提出もあり、活発な議会審議がなされており、二元性の重要な部分と認識し、議会人としての勉強の必要性を強く感じました。議場におけるタブレット端末の取り扱いには、議員により温度差があり、今現在の導入には否定的な姿勢であり、本市議会同様、今少し精査する方向でありました。

市原市では、反問権、議会災害対応について学びました。一般質問等における答弁側の反問権は、市長のみならず部長級も権利を有するが、行使の事例はなく、実行には慎重性が求められるとのことでした。全く同感であり、認識を同じくしたところです。災害時における議会のあり方については、石油基地等の存在から、かなり踏み込んだルールづくりが確立しており、感心しました。本市でも、隣接市町と連携した対策が急務と考えます。

(委員長 本間輝男 記)

## 第4回観光推進議員連盟研修会を開催

10月12日（水）に4回目となる大仙市議会観光推進議員連盟の研修会を行いました。第1回の研修から旧8市町村のうち2地域ずつを回り、今回の中仙地域と神岡地域ですべての地域を回り終えることができました。

はじめに訪れた小沼神社は、中仙地域豊岡地区にある小沼山山頂付近の蓮の花が浮かぶ小さな沼の先に佇む神社で、平安時代前期ごろの作といわれる県の指定文化財「木造観音菩薩立像」2点などが祀られています。秋田県唯一の国宝である「線刻千手観音等鏡像」が存置されている水神社では、開帳期間外であり実物を拝見することはできませんでしたが、国宝や水神社について説明を受けました。

創業320年の酒造会社、鈴木酒造店では、特に海外や若い人の中で人気が出てきている日本酒の蔵や所蔵されている文化財を見学し、物産としてばかりではなく、一つの観光資源としての価値を再認識することができました。

昼食は道の駅なかせんにて杜仲豚の焼肉定食。さっぱりとした中もしっかりと肉の味がする杜仲豚を堪能して神岡地区に移動。道の駅かみおかにて、食後に「味どうらく」を使用したソフトクリームやラスクなどのデザート。味どうらくがほんのり香るさっぱりとした味で人気上昇中との説明に一同納得しつつ、満腹になったところで桜の名所でもあり、グラウンドゴルフ場やサッカー場が整備されている中川原コミュニティ公園へ。きれいな公園なだけに同地域で行われているフットパス事業への活用が課題だと感じました。

最後に、かみおか嶽雄館の野球資料館へ。さすが少年野球発祥の地、「なんでここにあるの!？」と思うような野球ファンならずとも一見の価値がある資料や記念品の数々を見学した後、500歳野球大会の立ち上げに関わった伊藤久氏の講話で、今回の研修の全日程を終了しました。

今回の研修において、説明等ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。

(会長 後藤 健 記)



創業320年の鈴木酒造店



嶽雄館の野球資料館には、貴重な資料がたくさん展示されています。

### 先進地に学ぶ（会派行政視察）

#### ◆大地・公明の会（10/31～11/2）

- 佐賀県伊万里市  
（防災マップ作成事業について）
- 福岡県福岡市  
（イベント民泊について）
- 福岡県北九州市  
（古着の分別・リサイクル事業について）

#### ◆新政会・市民クラブ（7/26～7/28）

- 和歌山県橋本市  
（企業誘致について）
- 香川県高松市  
（地域行政組織再編計画について）

#### ◆だいせんの会（11/10～12）

- 神奈川県議会  
（神奈川県議会議員との意見交換）
- 静岡県熱海市  
（「営業する市役所」について）



〔10月〕

- 4日 県南4市市議会議員研修会
- 7日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 12日 観光推進議員連盟研修会
- 17日 総務民生常任委員会「行政視察」(～19日)
- 18日 教育福祉常任委員会「行政視察」(～20日)
- 24日 決算特別委員会分科会会長・副会長会議

〔11月〕

- 4日 決算特別委員会・同各分科会審査
- 7日 決算特別委員会各分科会審査
- 10日 決算特別委員会  
議員説明会
- 11日 秋田県市議会議長会議議員研修会
- 14日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 15日 議会運営委員会「行政視察」(～17日)
- 21日 会派代表者会議  
議会運営委員会
- 28日 第4回定例会(第1日)  
各常任委員会審査(企画産業除く)  
議員全員協議会

〔12月〕

- 7日 第4回定例会(第2日)  
広報広聴常任委員会  
議会運営委員会
- 8日 第4回定例会(第3日)
- 9日 各常任委員会審査
- 12日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 第4回定例会(第4日)  
総務民生常任委員会  
議員説明会  
会派代表者会議
- 20日 広報広聴常任委員会
- 27日 広報広聴常任委員会

FMラジオで議会の活動を紹介

12月は橋村誠議員が、若者の政治参加や人口減少問題、農業政策について放送しました、

1月は佐藤文子議員が担当で、現在放送中です。

2月は渡邊秀俊議員が、3月は小松栄治議員が担当します。

議会の仕組みや活動などをわかりやすく紹介しますので、ぜひお聞きください。

FMはなび「市議会だより」

毎週金曜日 10:15～10:30

毎週日曜日 12:45～13:00 (再放送)

毎週火曜日 18:45～19:00 (再放送)



用語の解説

【パブリックコメント】

行政による施策を原案段階で公表し、市民一般から意見を募り、その上で最終的な意志決定を行う手続きです。

大仙市ではこれまで、中心市街地活性化基本計画の策定や地域防災計画の修正、だいせんまちづくり基本条例の策定などにあたり、パブリックコメントを実施しています。

また、昨年9月から10月にかけては、国から策定を求められている、適正な公共施設等の管理に関する方針について示した計画である「大仙市公共施設等総合管理計画(案)」について、パブリックコメントを実施しました。

3月定例会日程のお知らせ

- 2月24日(金) 本会議第1日(施政方針演説、議案上程等)
- 3月6日(月) 本会議第2日(一般質問)
- 7日(火) 本会議第3日(一般質問)
- 8日(水) 本会議第4日(当初予算・議案質疑、委員会付託)
- 9日(木)・10日(金)・13日(月) 常任委員会審査
- 17日(金) 本会議第5日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。  
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費(10月1日～12月31日)

項目	件数	金額
予算額		1,050,000円
既支出額	40件	538,240円
今回支出額	24件	184,350円
内訳	弔慰	3件 30,000円
	慶祝	14件 79,100円
	協賛	7件 75,250円
予算残額		327,410円

昭和の時代、町村議会で一般質問した議員に対して、同僚議員から「知らねがったら質問するな。」と野次が飛んだという話を聞いたことがあります。その真意は、議会ではディベート力が重要だということらしく、質問の内容について自ら調査し、資料を集め、ロジックを組み立て、自分の主張をつまびらかにする。だから、自分が知らないことは勉強して質問しろということらしい。

大仙市議会では、インターネットで議会本会議の様子を視聴できるシステムがあります。わざわざ議場の傍聴席に出向かなくても、本会議場のやり取りはネット上で公開されているので、市民にとっては議会を身近に感じることができます。特に一般質問

の場合、聞き逃したところは何度でも再生できる。

市民が知りたいことを代弁してくれる議員の皆さんにかかる期待は大きい。そのために費やされる調査の時間や資料をまとめる手間には、計り知れないご苦労があるのだろうと推察される。内容を良く調べ上げて事例も加味された論点がはっきりしている質問は、聞いていてわかりやすい。

でも、発言が議事録に記録されるという緊張感からか、画面には原稿を読み上げる姿しか映らない。イギリスの議会ディベートのようにはいわないが、少しパフォーマンスがあってもいいと思うのは私だけだろうか。

(中仙地域 60代男性)

## 大仙市の歴史巡り (中仙地域)



もくそうじょうかんのんぼさつりゅうそう  
 木造聖観音菩薩立像 (右)  
もくそうじゅういちめんかんのんぼさつりゅうそう  
 木造十一面観音菩薩立像 (左)



こぬま  
小沼神社

小沼神社は、豊岡小沼集落の小沼山（海拔260m）の山頂にある三間四面の神社です。

老杉に包まれた山頂には1,000㎡ほどの峰沼があり、昔は沼に反り橋があり、真言宗の寺があったと記録に残されています。

沼の北側には南向きの社殿があり、平安時代の作といわれる、おとなの背丈ほどの2体の観音像（県指定文化財）と鎌倉時代の木造僧形頭部（県指定文化財）のほか、市指定文化財の獅子頭、極彩色の美しい彩色厨子などが祀られています。（秩父博樹 記）



## 編集後記

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、大仙市はスポーツや文化の力で興奮と熱気で盛り上がりました。リオ・オリンピックに3名のアスリートが出場、夏の甲子園での大曲工業高校の活躍、前日までの雨で心配した第90回「天曲の花火」の感動、184チームが参加した全県500歳野球大会の盛り上がり、法隆寺管長の 大野玄妙氏が講演のため来訪など大仙市民に誇りと勇気を与えてくれました。

今年も昨年の盛り上がり、「下り」続けて、災害や事故のない希望に満ちた年となりますようご祈念申し上げます。  
(高橋幸晴 記)

### 広報広聴常任委員会

- 委員長 石塚 柏
- 副委員長 小山 緑郎
- 委員 秩父 博樹
- 委員 佐藤 育男
- 委員 佐藤 文子
- 委員 橋村 誠
- 委員 高橋 幸晴
- 委員 小松 栄治
- 委員 渡邊 秀俊
- 委員 大山 利吉